

# むさし野

No.36

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方  
 電話 049-225-2466  
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp  
 ホームページ：http://www.longview.jp/musashino/

## 卒業生の井戸端会議の場を目指して

会長 石井 満



「法政むさし野会」は、自分でも素晴らしい会になったと思います。ひとえに会員の方々の自発的な発言によります。先日勉強会で会員の宮川さんの講演が終わった後で二部の茶話会になり、出席者15名一人ひとりが自己紹介を兼ねて現況を報告し合いました。この自己紹介は仕事上の或いは趣味を含め、興味が広域にわたる事に改めて驚きました。私と同じ驚きをご出席の皆さんが持たれた事と思います。

その主だったものは、講演者の宮川さんの考古学に始まり、浄化装置における新技術の開発（4頁参照）、俳句、地方史研究、パキスタンに於けるテロ組織の活動、金融の動き、日常の縫製の楽しさ、旅行、能楽、文学、等々です。

このよう多士済々が集まり情報を交換できる場所、社交場と言うよりは井戸端会議の場。それがこの「法政むさし野会」だと思えます。

私が会費を納めている会は現在7つほどになります。その他に会ではありませんが銀座教会英語学校には10年在籍しております。

その中に地域の囲碁愛好会がありますが、囲碁を始めたきっかけは、帰省したときに93歳になる父が「囲碁の相手が皆他界してしまった」と、ポツリとこぼしていた事を思い出してのことです。それならば息

子が相手をしてやろうと思い始めました。自分の時間を父のために使う事は価値ある親孝行の一つと思い始めました。通勤では通常は英語の勉強が主ですが、水曜日は囲碁の本を読むようにしています。毎週土曜日には地域のコミュニティーセンターで午後1時から5時まで碁盤を囲んでいます。当然、私が一番弱く相手には忍耐が要求されます。先輩棋士は早く強く成せようと代わる代わる教えてくれます。やってみると囲碁は面白いものでやめられなくなりました。今は「いいものみつけた」、と言うところです。

その他の趣味と致しましては、今年も3月の熊谷桜マラソン10キロ完走いたしました。年2回は山登りに行くようにしています。また、下手な絵画と詩の推敲も好んでします。何故こんなに趣味が増えたのか。「ストレス解消には何か新しい趣味をはじめた事だ」とも言われます。ということは、私はかなりストレスの多い社会で生きていることになります。

法政むさし野会は自己自慢の会と思って頂いてよいと思います。なかなか他人には出来ない自慢話をしに来て下さい。ただし相手が聴いているかどうかはその話し次第ということになります。

総会でまた、お会いしましょう。

## 定期総会のお知らせ（講演会の詳細は4ページ）

2010(平成22)年度定期総会を下記のとおり開催します。会員各位のご出席をいただきたくご案内いたします。

日時 2010年6月6日（日） 13：30～17：00（13時より会場に入れます）  
 場所 さいたま市民会館 うらわ 605号 集会室

今年も総会において会員の皆様の趣味や活動の形を展覽したいと思います。陶芸、絵画、エッセイ、著書、写真、書、雑誌及び新聞に掲載されたご自分の記事や寄稿等々展示される方は同封の葉書の通信欄に、作品展示希望として記載願います。総会へのご出欠は同封「葉書」にて5月22日(土)までにご連絡ください。

### <総会次第>

第1部 総会次第 13:30～14:00

- ・開会のことば
- ・会長あいさつ
- ・議事

- 第1号議案 2009年度活動報告について
- 第2号議案 2009年度収支決算及び会計監査報告について
- 第3号議案 2010年度活動方針について
- 第4号議案 2010年度予算について
- 第5号議案 役員改選および顧問の指名について

- ・閉会のことば

第2部 講演会 14:00～15:30（齋藤 仁氏）

第3部 写真撮影・意見交換会 15:40～17:00

## ■ 第1号議案 2009(平成21)年活動報告(案)

1. 定期総会の開催
  - ・定期総会：09年6月7日(日)開催。さいたま市民会館「うらわ」  
提出4議案(08年度活動報告、08年度決算及び会計監査報告、09年度活動方針案、09年度予算案)を原案通り可決・承認。出席者：19名
2. 役員会の開催
  - ・第1回役員会：09年6月7日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
  - ・第2回役員会(拡大)：09年11月8日(日)開催。於：都内・米久
  - ・第3回役員会：10年2月21日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
3. 会報の発行
  - ・会報「むさし野」第33号：09年5月15日(木)発行。定期総会開催告示他
  - ・会報「むさし野」第34号：09年9月15日(月)発行。定期総会報告、会員の声他
  - ・会報「むさし野」第35号：10年1月15日(木)発行。年頭の所感、見学会報告他
4. 研究発表会・見学会の開催
  - ・第18回『はとバスで東京の今昔を巡る』見学会：09年11月8日(日)実施。参加者：10名
  - ・第19回『考古学と西原大塚遺跡の発掘』研究発表会(発表者・宮川幸佳会員)：10年2月21日(日)実施。  
於：さいたま市民会館「うらわ」 参加者：14名
5. 講演会の開催
  - ・定期総会記念講演会：09年6月7日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」  
演題：『自分らしい葬儀を挙げよう』 講師：清水真理氏(セレモニーサロン代表) 参加者：19名
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
  - ・09年春季『神宮の集い』：09年5月23日(土)、法大(5)対明大(3)・1回戦。  
於：明治神宮野球場 参加者：5名(注)明大に連勝。6期ぶり43度目の優勝。
  - ・09年秋季『神宮の集い』：09年10月24日(土)、明大(5)対法大(1)・1回戦。  
於：明治神宮野球場 参加者：4名
  - ・第17回法政大学全国卒業生の集い『長崎大会』：09年10月17日(土)～19日(月)  
於：長崎ブリックホール(長崎市)他 参加者：3名(会員2名・関係者1名)
  - ・10年オール法政新年を祝う会：10年1月16日(土)、於：ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
参加者：11名(会員9名・関係者2名)
7. その他
  - ・08年度埼玉県出身の通信教育部卒業生に対し、入会勧誘文書・会報等を送付、勧誘活動を実施(入会者：3名)。  
その他、会員名簿の配布及びホームページの充実等。

## ■ 第2号議案 2009(平成21)年度収支決算及び監査報告(案)

### 1 収支決算書

収入の部 自2010年4月1日 至2011年3月31日

支出の部 自2009年4月1日 至2010年3月31日

科目	本年度予算		前年度決算		備考
繰越金	19,000		19,000		
会費	82,000		88,000		46名 3名複数年度会費合
雑収入・会合参加費	100	18,900	10,768	7,500	寄付受取利息
合計	120,000		125,268		

科目	予算額	決算額	備考
会場費	10,000	3,812	勉強会会場費代等
通信費	30,000	33,110	
総会費	20,000	35,545	講師謝礼等
印刷費	50,000	39,000	
事務費	4,000	9,238	コピー代等
勉強会講師代	6,000	3,000	勉強会講師資料代等
予備費	0	0	
次年度繰越	0	1,563	
合計	120,000	125,268	3名の前受金があり△4437

### 2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成21年度(2009年4月1日～2010年3月31日)収支計算書及び付属書類について、2010年4月9日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されていることを認めます。

2010年4月9日

会計監査 鹿野 幸作 ㊟  
会計監査 小林 薫 ㊟

## ■ 第3号議案 2010(平成22)年度活動方針(案)

本会の目的を達成する為に、昨年度同様、「会員による研究発表会・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主活動に、その他、母校法政大学及び会員のご協力の下、入会勧誘活動を展開いたします。また、卒業生として、法政大学校友連合会並びに学部同窓会・地域支部等との情報を交換し、それらを行う諸事業に参加・協力して行きます。

- 1 定期総会の開催 2010(平成22)年度 定期総会

- 2 役員会の開催 定例会を年3回、その他必要に応じて適宜開催
- 3 会報の発行 年3回(5、9、1月に発行)
- 4 研究発表会の開催 年2回(10月、2月に開催・終了後「懇談会」を開催)
- 5 講演会の開催 定期総会開催時に実施 演題『学校教育の現場から』講師 齋藤 仁氏
- 6 法政大学校友連合会主催事業への参加
  - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ戦
  - ・第18回法政大学全国卒業生の集い『青森大会』(2010/10/8～10/10)
  - ・2011年「オール法政新年を祝う会」
  - ・その他、アメリカンフットボール、箱根駅伝などの応援、等々
- 7 新規会員勧誘 法政大学オレンジネット校友課の協力及び会員の紹介による勧誘活動を主に展開を図る
- 8 その他 ホームページの充実。会員名簿の配布、連絡通信体制の整備(メール、FAX等による)

## ■ 第4号議案 2010(平成22)年度収支予算(案)

収入の部 自2010年4月1日 至2011年3月31日

支出の部 自2010年4月1日 至2011年3月31日

科目	予算額	前年度決算額	備考
繰越金	1,563	19,000	
会費	86,000	88,000	43名
雑収入	14,937	10,768	受取利息・寄付など
会合費	7,500	7,500	
合計	110,000	125,268	

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	5,000	3,812	会場費、茶菓代
通信費	30,000	33,110	
総会費	25,000	35,545	講師謝礼・会場費
印刷費	40,000	39,000	
事務費	4,000	9,238	
勉強会講師代	6,000	3,000	
予備費	0	1,563	繰越金含
合計	110,000	125,268	

## ■ 第5号議案 新役員改選、顧問の指名

第3期役員(案) 会長:石井満(川崎市) 副会長:筑井信明(朝霞市) 幹事:塩入基臣(朝霞市)、菅井肇(さいたま市)、矢田義徳(総務・朝霞市)、宇佐美善夫(朝霞市)、大川 成一(会計・草加市)、鳥海美智子(広報・さいたま市)、榊原洋子(北本市)、※宮川幸佳(志木市)、※大野正雄(川口市) 会計監査:小林薫(上里町)、鹿野幸作(千葉市) ※:新任 ○顧問(案) 内田吉久(さいたま市)

### 「オール法政新年を祝う会」報告

2010年「オール法政 新年を祝う会」が1月16日台場の「ホテルグランパシフィックLE DAIBA」にて全国から過去最高の700名の校友が集い開催された。ホテルの大ホールは校友で埋め尽くされ、将にオレンジ色に染まり熱気と興奮に包まれた。

「法政むさしの会」からは石井会長を始め飯田、大川、大野、尾辻、黒木、桑名、竹村、鳥海、矢田の各氏、それに小生の計11名が参加し、会場の1テーブルを「法政むさし野会」で占めるに至った。

式は法政アリオンコールの透き通るような歌声で「校歌、学生歌」の合唱の後、参加者全員で校歌を斉唱した。次に物故者に対し敬虔な黙祷を捧げた。続いて校友会会長の岩部金吾氏から開会の挨拶があり、来賓として出席された法政大学総長の増田壽男氏、及び法政大学後援会会長の押山憲昭氏のご祝辞を述べられた。祝電披露の後、続いて感謝状授与が行われた。乾杯は今年全国卒業生大会が開催される青森支部支部長の對馬忠雄氏から青森大会のご案内があり、同氏の声高らかな乾杯の音頭で大会は開催された。

アトラクションは吉幾三が土の匂いがするような津軽なまりで情感をたっぷり込めて唄う「酒よ」の熱唱に参加者は酔いしれ、そこには吉幾三の演歌の世界があった。最後は場内からの熱烈なアンコールのかけ声に応じて、更に一曲

を披露すると会場からは割れんがばかりの盛んな拍手がわき起こった。

その後、上溝睦友好団体(虎

流太鼓)による太鼓演舞があり、響きわたる迫力ある太鼓の音色に身も心も洗われるような思いがした。今度は上溝睦(釜場)による江戸御輿が威勢のよいかげ声と笛や太鼓の祭ばやしで入場すると会場は賑やかなお祭り気分一色に一変し会場はボルテージが一段とアップ最高潮に達した。

更には法政大学応援団とチアガールによるスポーツ法政の意気盛んな応援風景が繰り広げられ、チアガールの元気漲る華やかな演舞は参加者を魅了し、若い息吹が伝わってきた。

その後は歓談に入り、場内ムードに駆け入り、会話が弾んだ。最後は参加者全員で肩を組んで校歌を斉唱、このときばかりは若き青春時代に思いを馳せる感動の一こまでもあった。(写真上)

閉会の挨拶は校友連合会副会長の鹿山秀佳氏がお礼のご挨拶と再会を誓い合う言葉で締めくくり、余韻を残しての散会となった。(鹿野 記)



### 【会報 35号のお詫びと訂正】

- ① 1頁の題字下の事務局住所が左揃えになってしまいました。
- ② 4頁の『奥の細道を旅して』の中で誤記がありました。

紀州の興福音 → (正) 紀州の興福寺  
 田一枚構えて → (正) 田一枚植えて  
 春立てる車の空に → (正) 春立てる霞の空に  
 奥州三古閑 → (正) 奥州三古関

## 総会の記念講演 『学校教育の現場から』

齋藤 仁氏 (北本市北本中学校校長  
同志社大学卒 熊谷市在住)

日時：2010(平成22)年 6月6日(日) 14:00～15:30

場所：さいたま市民会館 うらわ 605号室

義務教育界の現状を報告する事で、多くの人々にこれからの教育のあるべき姿について考えを深めて頂きたい。質問等「議論百出」を期待されているそうです。

### 考古学の分かりやすい話(第1部)と楽しい近況報告(2部) 第19回勉強会

2月21日に開かれたむさし野会第19回勉強会の講師は会員の宮川幸佳さん(志木市)。テーマは「考古学と西原大塚遺跡の発掘」。宮川さんは会報30号にもご寄稿いただきました。小学校時代に読んだ『ツタンカーメンの発掘』にまつわる本がきっかけで考古学に興味を持つようになったという宮川さんですが、関心を持ち続けて、より深く学ぼうということで2つの大学で考古学などを専攻し、さらに実際の発掘・調査作業を通しての研究論文発表などを経て、現在は、日本の考古学界でもっとも権威があるといわれる日本考古学協会の会員になっています。幼い頃の夢を実現したといえます。

実際の考古学はかなり地味で専門的な内容を含みますので、今回の講演は、宮川さんが地元でその発掘に携わった埼玉県志木市の西原大塚遺跡での遺物(出土物)や遺構などを写真やレプリカ、報告書などを示しながらわかりやすくお話しいたしました。

縄文時代以前から弥生、中世まで続くというこの大きな遺跡ではこれまで多くの貴重な発見、出土がされたそうです。発掘された多くの遺物の中でも特に弥生時代のイヌ型土製品は全国でも例がないものだという事。宮川さんはこのイヌ型土製品の第一発見者の



パネルや土器のレプリカを使っでの説明でした。

ひとりだそうで、この時の発掘のさいのエピソードは興味深いものでした。そのレプリカを見せていただきましたが、長さがわずか五センチくらいしかない、このかわいらしい玩具のような土製品は住居跡から発見されたということもあってどのような目的で使われたのかという謎も含めて、不思議な魅力をもっています。

この遺跡ではほかに鳥型土製品なども出土していて、近隣の博物館などでもたびたび展示される有名なものです。

続いての第2部では、今回の会長あいさつにもあるように参加者全員による近況報告と最近の話題が出席者より披露され、いつもながら時間が足りなくなるほどの豊富でにぎやかな内容でした。(筑井 記)

#### ご寄付

長井純市 教授 切手800円

横井時弘 様 切手800円

#### 神宮の集い 5月15日(土) 対早大戦 お知らせ

■集合時間：12時00分

■場所：明治神宮球場 1 塁側学生席入り口付近  
「法政むさし野会」プラカードを目印 入場料500円

#### 2010(平成22)年度会費振込みのお願い

\*同封の振込用紙にて、新年度会費(2000円)のお振込みをお願いいたします。

#### 小林薫さん、今年も発明コンテストで入賞!

昨年「異業種交流成果表彰」を受けた(会報34号で内容を紹介)会員の小林薫さん(上里町)が、今年イノベーション創出コンテスト2009(日刊工業新聞社主催)の奨励賞に輝きました。昨年は所属する企業の受賞でしたが、今回は発明者である小林さん個人が選ばれたものです。発明のテーマは「ドレン水浄化装置」。

3月3日に表彰式が行われましたが、この日は小林さんの誕生日だそうで二重の喜びだったようです。

#### ◆あとかぎ◆

今年は寒暖の差が激しく、体調を整えるのが大変な毎日ですが、皆様元気でいらっしゃいますか。▼米軍基地の問題は沖縄だけの話ではありません。国の安全をどう考えるかという根本的な問題なのです。現在の報道はその一番大切な部分を忘れてしています。皆様のご意見をお寄せください。(鳥海)